

(令和6年度補正分)

令和7年度愛知県地域少子化対策重点推進事業費補助金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名 愛知県知多市

本事業の担当部署名 福祉子ども部子ども若者支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	知多市児童健全育成事業(①小学生と赤ちゃんのふれあい体験②「親になる」講座と乳幼児ふれあい体験)					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	平成21年度		
総事業費(A)(円)	1,430,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,430,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	1,072,500						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	1,279,000	0	0	151,000	0
	対象経費支出予定額	0	959,250	0	0	113,250	0
	対象外経費支出予定額	0	319,750	0	0	37,750	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	0	0	1,430,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	1,072,500
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	357,500	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 結婚を希望する方が前向きに活動できる気運を醸成するため、行事や自然等の地域資源を生かした体験型の交流イベントを実施し出会いの場やきっかけづくりの機会の創出を重点的に行う。 また、知多半島5市5町で連携する強みを生かし、各自治体のシティプロモーションを同時に行うことで、知多半島全体で出会いや結婚を応援する社会的気運の醸成及び関係人口の創出・拡大を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、乳幼児とふれあう国の取り組みを、児童館の取り組みとして位置づけ、本市の『第2期知多市子ども・子育て支援事業計画』の施策として実施しています。 令和7年度からは、新たに知多市こども計画を策定し、乳幼児を身近に感じ、命の尊さに関心を持つ機会とするための重要な施策として本事業を実施していきます。</p>						

番号	項目	内容
1	赤ちゃんと小中学生のふれあい体験事業の開催	<p>小中学生が地域の親子とふれあう体験を通して、小学生は命の尊さに関心を持つ機会とし、中学生は子育てに関する「期待」・「自覚」・「責任」の気持ちを育むことを目的とする。</p> <p>○赤ちゃんと小学生のふれあい体験事業 ・参加校数：市内全10校、全26クラス ・内容：児童センター職員による事前学習(パワーポイントなど)、赤ちゃんとふれあい体験など ・対象：小学6年生、4か月～概ね2歳児とその保護者 ・流れ：①事前学習 ②ふれあい体験 ③体験についてのアンケート</p> <p>○「親になる」講座とふれあい体験事業 ・参加校数：市内全5校、20クラス ・内容：児童センター職員による事前学習(愛知県著作の愛着形成のための「親子のふれあい」DVD視聴、パワーポイント学習、手遊び・ふれあい遊び)、赤ちゃんとふれあい体験、赤ちゃん人形を使った疑似体験(赤ちゃん人形体験：抱っこ・着替え・おむつ替え・おんぶ体験・妊婦体験ベスト体験)など ・対象：中学1年生、4か月～概ね2歳児とその保護者 ・流れ：①事前学習 ②ふれあい体験 ③赤ちゃん人形を使った疑似体験 ④体験についてのアンケート * ②または③を体験</p> <p>○周知・広報について ・チラシ配布(400枚)、市ホームページ、SNS(Instagram、ラインなど)</p> <p>○留意点 ・乳幼児の安全確保(事前学習を行うことにより、乳幼児の抱き方や関わり方について周知する) ・生徒への配慮(個別の事情に配慮するとともに、特定の価値観の押し付けやプレッシャーにならないようにする。)</p>
2		
3		
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の開催方法について、ふれあい体験後のアンケートを従来の紙媒体から電子申請を導入したことで、会場での時間短縮、集計の事務改善につながった。また、教材を事前に学校の専用ファイルドライブにいれることで、効率的に事業をすすめることができた。さらに、申込みなど電子化を図り、集客を図る。 ・本事業の周知方法について、更なる集客を図るため、従来の情報発信方法に加え、情報誌への広告を検討する。 		

KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
保育所待機児童数	人	0(R7年度)	0(R6年度)
地域子育て相談機関の設置数	か所	1(R7年度)	0(R6年度)
産婦検診診査受診率	%	95.0(R7年度)	93.7(R5年度)
子ども食堂・地域食堂の実施か所数	か所	12(R7年度)	11(R6年度)

項目	単位	直近の実績値(時点)	
合計特殊出生率		1.16(H30年度～R4年)	
婚姻件数	件	44件(R5年度)	
婚姻率		2.0(R5年度)	

KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
番号	項目		
	(アウトプット)		
①	事業参加小学校数	10校	10校
②	事業参加中学校数	5校	5校
③			
④			
⑤			
	(アウトカム)		
①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	98(R7年度)
②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—
③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			